



# おokay 美術考古館だより

## Okaya Art and Archaeological Museum NEWS

2019.3  
vol. 8

### 共通入館券のご案内

岡谷の美術館・博物館めぐりには **共通入館券がおトクです!!**

共通入館券は  
右記の5施設で  
お使いいただけます。

- 市立岡谷美術考古館
- イルフ童画館
- 旧渡辺家住宅
- 岡谷蚕糸博物館・シルクファクトおokay
- 旧林家住宅

### 共通入館券料金表

	2館	3館	5館
一般	650円	900円	1,100円
高校生	600円	700円	900円
中学生	300円	500円	600円
小学生	300円	350円	400円
有効期限	発行日から3日間	発行日から3日間	発行日から1年間

### 市立 岡谷美術考古館



○休館日/毎週水曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日  
 ○開館時間/10:00～19:00  
 ○入館料/おとな(常設展)350円(特別企画展は別途料金)  
 こども(常設展)150円(特別企画展は別途料金)  
 ※諏訪郡内在住/在学の小・中学生  
 岡谷市内在住/在学の高校生は無料



### 蚕糸博物館・シルクファクトおokay



近代の岡谷の一大産業、製糸業の歴史がわかる博物館です。併設された樹宮坂製糸所では、繭から糸をとる様子を見学することができます。

○休館日/毎週水曜日(祝日の翌日)、12月29日～1月3日  
 ○開館時間/9:00～17:00(動態展示は16:00まで)  
 ○入館料/一般500円、中高生300円、小学生150円

### 江戸時代の武家屋敷 旧渡辺家住宅



高島藩士渡辺家は、城下町ではなく村に住んだ珍しい散居(さんきょ)武士の旧宅で、18世紀に建てられました。この家からは、明治以降3人の大臣が生まれました。

○休館日/3月20日～11月3日の月・木・金曜日、11月4日～3月19日  
 ○開館時間/10:00～16:00  
 ○入館料/おとな310円、こども150円

### 童画家 武井武雄の世界 イルフ童画館



大正から昭和にかけて、子どもの心にふれる絵を描き、「童画」という言葉を生み出した武井武雄の世界に浸ることのできる美術館です。

○休館日/毎週水曜日、祝日の翌日12月29日～1月3日  
 ○開館時間/10:00～19:00  
 ○入館料/一般500円、中・高校生300円、小学生150円

### 一歩足を踏み入れれば 旧林家住宅



一山力(いちやまか)林製糸所の経営者、初代林田蔵の邸宅。明治30年代～40年にかけて建てられました。洋館付きで迷路のように広く、豪華でレトロな雰囲気が味わえます。

○休館日/毎週水曜日、祝日の翌日  
 ○開館時間/3月～11月 9:00～16:30  
 12月～2月 10:00～15:00  
 ○入館料/おとな570円、こども260円

※10月1日より料金が変わります。詳しくは各施設へお問合せ下さい。

交流ひろばや市民ギャラリーで個展をしませんか? 興味のある方は、当館までお気軽にお問い合わせください。  
 当館ホームページ <http://www.okaya-museum.jp/> から「利用案内」をダウンロードいただけます!!

例えば、5日間 1日9時間使用し、ご来場された方に無料で作品を公開する場合は...

### ◆交流ひろば

・使用料金600円×3区画×5日間 = 9,000円  
 ・空調設備費50円×9時間×5日間 = 2,250円  
 合計11,250円



### ◆市民ギャラリー

・使用料金5,000円×5日間 = 25,000円  
 ・空調設備費150円×9時間×5日間 = 6,750円  
 合計31,750円



岡谷美術考古館だより vol.8

発行/平成31年3月30日

発行者/市立岡谷美術考古館 〒394-0027 長野県岡谷市中央町1-9-8 TEL.0266-22-5854/FAX 0266-22-5856  
<http://www.okaya-museum.jp/> E-mail: art@city.okaya.lg.jp

制作/中央印刷株式会社 岡谷工場 〒394-0048 長野県岡谷市川岸上1-1-20 TEL.0266-22-5551(代)



平成30年度 特別企画展・収蔵作品展・考古企画展  
 若手アーティスト育成公募展  
 イベント&ワークショップ  
 考古展示から  
 館長コラム  
 共通入館券・貸しスペースのご案内



市立 岡谷美術考古館

美術収蔵作品展

『墨の世界 東洋の美』

平成30年4月26日～6月24日  
書や水墨画をはじめ、東洋的な技法や発想によって制作された作品をご紹介します。



美術考古館の隠れた名品展

平成31年1月10日～3月3日  
これまで展示される機会の少なかった収蔵作品を一堂に展示しました。

平成時代に活躍した収蔵作家の作品や美術考古館の平成のあゆみを振り返り、今後の館活動を展望しました。

『THE 平成展』  
～美術考古館のあゆみと展望～  
平成31年3月21日～4月21日

『生誕110周年 暗色の色彩家 野村千春展』

平成30年11月8日～31年1月6日



孤高の画家、野村千春の画業70年の軌跡を、多くの作品や資料で振り返りました。

美術特別企画展

生誕100周年 早出守雄展 一早出先生と教え子たち

平成30年6月28日～8月26日  
地域の人々から愛され、親しまれてきた水彩画家 早出守雄の画業の全容をご紹介します。あわせて早出の高校教師時代の教え子の作家24人の作品を展示しました。



県展70年を支えた岡谷の巨匠展

平成30年8月30日～11月4日

長野県展70周年に合わせて、県展を支えた巨匠25人の作品を展示しました。また地域の芸術文化の振興に寄与した県展の歩みをご紹介します。



巨匠たちによるトーク

美術考古館では、毎月こどもから大人まで楽しめるワークショップを開催しています。

イベント & ワークショップ

平成30年度行われた一例をご紹介します。

開館5周年を祝って講師の方も呼びました!!

安藤美香さん  
美濃和紙に描く水墨画



窪田やよいさん  
ペーパーキリングでクリスマスのフレームをつくろう



山本英津子さん (わくわく書)  
はっこりする筆文字で手描きの年賀状を作ってみよう



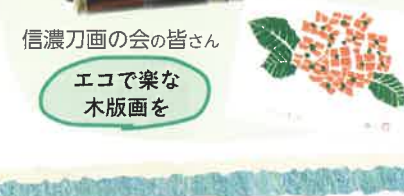
伊東美和さん  
インドネシアのバティックアート - 色付け体験



高倉美保さん  
紙のちいさいいさまのたちをつくろう



信濃刀画の会の皆さん  
エコで楽な木版画を



若手アーティスト育成公募展を開催!

岡谷市出身及びゆかりのある20～30代の若手作家の公募を行い、展示会を開催しました。

第1回目の作家は、片桐晃憲(てるかず)さんで、展示名は「そして輪郭を現す」です。建築の要素を取り入れた平面や立体作品が数多く展示されました。

岡谷市出身の若手アーティストの応援をぜひお願いいたします。平成30年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業となっています。



考古企画展

開館5周年を記念して考古特別企画展を開催!

考古の特別企画展は、第1部・第2部の構成で、県内県外の博物館等から、土器の借用を行い展示を開催いたしました。関連イベントも開催したため、多くの方が土器に親しみ、土器に触れ、土器に魅了されました。また、平成30年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業にもなりました。

第1部「華麗な装飾 火焰と水煙の縄文土器展」

なかなか見る事の出来ない新潟の火焰土器と八ヶ岳山麓の水煙土器。夢の共演で、見応え十分! その造形にうっとり。



第2部「恵みを生み出す器 縄文中期の顔面把手大集合」

顔面把手と言われる顔を集めました。それぞれ違いがあり、その顔は女神(めがみ)とも言われています。



考古展示から

2018年に縄文ブーム到来

2018年は、縄文ブーム到来の年でした。当館でも、5月に「星降る中部高地の縄文世界」が日本遺産に登録。また9月には、縄文土器19点が「信州の特色ある縄文土器」として県宝に指定された年でもありました。

市内には、縄文時代から中世にいたる201箇所の遺跡があり、八ヶ岳を中心とした中部高地は「縄文王国」といわれるほど繁栄していました。その背景として、狩猟・漁労、植物の採集など食糧が豊かだったこと。さらには地理的に東西文化の中間に位置し、豊富な和田峠産黒曜石とその流通などが考えられます。

また装飾された縄文土器の中でも「顔面把手土器」は、諏訪・上伊那地方、山梨から静岡、神奈川などの関東地方の遺跡に分布する限られた土器です。黒曜石の流通と関連するの、想像が膨らみます。

美術考古館では、縄文が注目されているヒントを今後も情報発信してまいります。



館長コラム

◆2年目の「体験的絵画講座」  
昨年度に引き続き、館長のワークショップを行いました。今年のテーマは「デッサン」「模写」「スクラッチ」「岩絵の具」「縄文を描く」の5つで、それぞれ3日ずつ制作を楽しんでいただきました。成果は3月の作品展で。

◆うれしいことがいろいろ重なって…  
「リニューアル5周年記念」で始まったばかりの5月、中部高地の縄文が「日本遺産」に認定され、考古のほうでは早速「記念」の展示となりました。さらに秋には多くの土器が「県宝指定」となり、もうひとつ記念が増えました。東京国立博物館をはじめ全国各地で縄文がにぎわいを見せた年でもあり、来館も多く、うれしく忙しい記念の年でした。

◆貸しスペースを気楽に  
グループや個展、また学習の展示・発表などで当館を気楽に使ってください。お茶も飲めるようになっています。ご相談をお待ちしております。

